

科目名:工業簿記		講義	担当教員名: 半田弥生	実務経験 無
1年次 4期		60時間	必修	
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 1. 製造業における仕訳や原価の概念を理解し、原価計算方法(個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算)ごとの目的を知る。最終的には製造業会計のしくみが理解できる。 2. 日本商工会議所主催簿記検定2級合格の実力を養う。				
<b>授業の概要</b> ・材料、労務費、経費などの費目別や直接費・間接費などの原価をしっかりと学び、原価計算では正確な計算力を習得する。標準原価や直接原価を求める目的は何かを意識させ、原価差異分析やCVP分析につなげる。				
授業計画				
1	工業簿記の基礎知識	16	等級別原価計算	
2	勘定体系の流れ	17	仕損じと減損	
3	材料費の処理	18	製造原価報告書作成	
4	材料費の処理(予定消費原価を用いる場合)	19	本社工場会計	
5	労務費の処理	20	本社工場会計	
6	労務費の処理(予定消費原価を用いる場合)	21	標準原価計算 原価標準	
7	経費、経費仕訳帳	22	数量差異と価格差異	
8	個別原価計算の処理、製造間接費の配布	23	賃率差異と時間差異	
9	個別原価計算の処理(予定配賦率を用いる場合)	24	予算差異と操業度差異、能率差異	
10	個別原価計算	25	直接原価計算とは	
11	部門別個別原価計算 部門個別費と部門共通費の集計	26	直接原価計算と全部原価計算、固定費調整	
12	部門別個別費の予定配賦	27	損益分岐点の売上高、安全余裕率	
13	総合原価計算 月末仕掛品の計算	28	財務諸表 原価差異	
14	工程別原価計算	29	まとめ	
15	組別総合原価計算	30	試験	
<b>テキスト</b> スッキリわかる日商簿記2級売業簿記 TAC出版				
<b>使用教具・参考書等</b> ①計算器具として電卓②検定試験対策として網羅式日商簿記2級過去問題集				
<b>評価の方法と基準</b> 定期試験時にペーパーテスト(100点中60点以上合格) 受講態度と小テスト、課題提出を加味する				